

杉コレクションプレゼンテーション

二〇一一年十一月十二日 安田 圭沙  
みなさん、こんにちは。

わたしは、日知屋東小学校三年の安田圭沙  
です。わたしの考えたデザインがさい終せん  
考の十作品にえらばれ、とてもうれしく思  
います。

①  
本当なら、子ども部門のプレゼンテーショ  
ンは、予ていになかったのですが、せっかく  
地元日向市で開さいされるので、わたしもプ

レゼンテーションをしてみたいと思い、事む  
局の方におねがいして、今日ここに立たせて  
いただきました。本当にありがとうございます。  
す。

それでは、わたしがこのデザインにこめた  
思いなどをお話ししたいと思います。

2

わたしは、三月十一日の東北大しんさいの  
ニュースをテレビで見ました。

大きな家や車が津波にのみこまれていく様  
子を見てとてもこわくなりました。

次の日、またニュースを見ていたら、お父  
さんやお母さんとはぐれて一人でひなん所に  
ひなんしているわたしと同じぐらいの小学生  
がいました。すごく心配になりました。早く  
お父さんたちに会えるといいなと思いました。  
それから、毎日、ニュースを見ていました。

お父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあ  
ちゃんをなくしてないでいる子どもたちがうつるた  
びにむねがきゅんとくるしくなりました。す  
ぐに東北へ行ってきゅんとだきしめてあげた  
いと思いました。

でも、わたしには、ほ金をすることしかで  
きませんでした。

3

八月になって、図書館でぐうぜん杉コレク  
ションのチラシを見つけてました。

わたしの弟は、汽車が大好きで、一しょに  
よく日向市駅に遊びに行きます。日向市駅は、  
杉をたくさん使って作っているのて、すごく  
気持ちが良いてあたたかいです。

チラシを見た時に、すぐにこのことが頭に  
うかびました。しんさいでさびしい思いをし  
ている子どもたちが、あたたかく、幸せな気  
持ちになれるいすがあったらいいのと思っ  
ました。

それからたくさん考えて「だっこのいす」  
のデザイン画をかきました。

いすにすわると、お父さんやお母さんにぎ  
ゃつとだっこさされている気分になれるよう  
手の部分とひざやおしりの部分を工夫しまし  
た。とくに手の部分は、子どもがすわった時  
には、~~ひざ~~こんな形、大人がすわった時には、  
~~おしり~~こんな形でひじかけにもなるようにしまし  
た。

4

それから、よけいなかざりなどはつけずに杉のあたたかさを俵いっばいに感じてもらえるようにしました。

こんなわたしのデザインを、藤永木工所のみなさんが、百倍も千倍もすてきな作品に仕上げてくださいました。見るよりも、ぜひ、さわってすわってめて下さい。とってもすわりごこちがいいですよ。

東北だけでなく、日向にもいろいろな理由でお父さんやお母さんをなくしてしまった子どもたちがいます。そんな子どもたちや、わたしの友だち、そして、みんながこのいすにすわってほっこりとあたたかく幸せな気分になってくれたらうれしいです。

大人の人たちもぜひすわってめて下さい。すごくいいすわりごこちですよ。

これでわたしのプレゼンテーションを終わります。

ごせいちようありがとうございます。